

令和元年度 大阪府立野崎高等学校 第3回学校運営協議会議事録

日時：令和2年2月19日（水）

14：00～

於：本校会議室

司会：教 頭

【次第】

1. 校長挨拶
2. 学校教育自己診断・教員アンケートについて
3. 学校より
4. 協議・意見交換
5. 校長よりまとめ

---

1. 校長挨拶

- ・学校近況（卒業式の予定報告）
- ・学校経営計画および学校評価
  - ・めざす学校像・中期的目標（3年後の達成を目標とするもの）の承認  
教員の働き方改革について：教員の時間外労働（今年度）、月 27 時間 30 分…目標に届かず
- ・教員の職場環境は府の平均より良い数値が出ている。（ストレスチェックより）
- ・来年度入学予定者選抜試験の本年度の入学志望者（1月調べ）241名、2年前（受験者が定員よりも多かった年）よりも多い。府全体では定員割れしている状態…私立高に生徒が流れている。

2. 学校教育自己診断・教員アンケートについて【首席】

- ・学校教育自己診断集計
  - ・生徒の評価：「校舎内は清掃が行き届いている」・「ホームページやブログなどで学校の情報を見ている」が満足度 50%を下回っている…しかし去年の数値よりは高い。  
人権教育の充実などいくつかの項目については、評価が明確な上昇を見せている。
  - ・教員からの評価：「生徒が達成感を得られるよう部活動の活性化について工夫している」の項目が非常に高い評価をしている。…教員主導から生徒主導の指導に変わってきた成果が出ている。
- ・授業アンケートの結果について【教頭】

- ・年度2回のアンケートを生徒に行っているが「授業の満足度」・「授業の達成感」の項目で前期と比べて後期の評価が急上昇している…教員と生徒の関係が時間を得ることに深まっていること、教員の授業研究の成果が出ているのではないか

### 3. 学校より

#### ア) 教務部より

- ①入学試験を迎えるにわたって、コロナウィルスの影響が懸念される

#### イ) 生徒指導部より

- ①生徒会活動の充実：体育大会、文化祭だけではなく出前授業、ファシリテーター研修など学校の内外で生徒が成長する場を提供している。また各クラブの活動が前年度より活発になってきている。
- ②生徒指導：指導件数の増加…集団に対する指導よりも個別に対する指導が増えたこと、遅刻指導の増加が要因と思われる
- ③規範意識の向上：苦情の件数の増加…野崎だけではなく府校全体で増加傾向。近隣の方に対するコミュニケーションが必要。スマホサミットへの取り組みを通じて本校生のスマホマナーを向上できたのではないか
- ④遅刻数の減少：上半期の増加が目立つが教員の粘り強い指導の結果、下半期の遅刻数をかなり抑えられている。

#### ウ) 進路

- ①3年生の進路状況：就職・進学ともに若干の苦戦が認められるが、引き続き最後まで生徒の進路確定のサポートをしていく

#### エ) 人権

- ①SHINGO★西成さんの講話とライブ：生徒の感想からは西成さんの話が生徒の心に届いているように感じられ、次年度も続けていきたいと考えている。
- ②朝日新聞の記事から：本校の外国籍生徒へのサポートに関する記事が掲載。…大阪大学などが行う遠隔操作による授業

#### オ) 広報

- ①第一回学校説明会（1月）の説明
  - ・生徒とその保護者を含めおよそ160名ほどの見学者が集まった。評判とは違う野崎の好印象を持ってもらえた。
  - ・生徒会による、地域小中学校でのスマホ出前授業が高評価。地域の警察のほうからも表彰を受けた。

### 4. 協議・意見交換

- ①中嶋委員（大阪産業大学）から

・コロナウィルスなどの対策：複数の試験日を用意し、ウィルスに罹患した生徒に複数のチャンスを与える。

② 葛岡委員（関西外国語大学）から

・コロナウィルスによる受験欠席に対しては受験料返還をする。試験のマスク着用も認める…必要に応じてマスクをとってもらうことを告知している。

どちらの大学も政府文科省の対応を待っている段階…その中でできるならマスクを配布するなどしかできないのではないか。

（校長から：文科省から「卒業式はやってください」との通達が来ている。…他は未定で本当に先がわからない）

それでは野崎高校の直近の課題は志願者の定員の確保。できる範囲のことをやっていくしかないのではないか。

③ 北口委員（PTA 会長）

生徒と先生との関係が良いのが資料からよくわかる。親としては遅刻してもいいから学校に行ってくれたらうれしいという思いがある。遅刻指導の大変さは理解するが、厳しい指導よりも教師の温かいアプローチで生徒を引き上げて学校に向かせてほしい。

昔の悪い評判（喫煙・バイクなど）が今も知れ渡っているが、今のよい野崎の印象も同時に目にする。どちらかというところ好印象の生徒がほとんどではないか。

④ 宮脇（本校生徒指導部部長）

自分が赴任してきた 8 年前よりは確実に指導の内容も数もよくなっている。そういう意味で教員が問題行動の指導以外に目を向けることができ、様々な活動で生徒を育てることができるようになった。今、起こっている問題は学校がよい意味で改善してきた結果目に見えるようになってきたように思える。

⑤ 尾崎委員（大東森づくりクラブ代表）

そのような学校の改善が里山ボランティアで手伝いに来てくれている生徒の質にも見ることが出来る。もっとやんちゃな子が手伝いに来るのかと思ったのだが（笑）。

⑥ 橋爪教頭

（居場所カフェなどの学校の取り組みの効果について）外部の方にも関わっていただいてたくさんの生徒が過ごす場所が多く提供できている。生徒にも高評価であるのだが、同時に野崎のこのようなたくさんの良い取り組みが外に向けて発信しきれていない。

⑦ 中嶋委員（大阪産業大学）から

生徒の学校評価で授業の満足度、達成感が高評価なのはとても大きく評価されるべき点で

はないだろうか。実際に目にする野崎生にもそのような授業で培われた良い態度（例えば野球部のユニフォームなどの着こなし）が表れているのではないか。

⑧ 葛岡委員（関西外国語大学）から

アンケートの結果を見ると間違いなく教員の努力の成果が出ている。それだけに低評価な部分があることが残念。教員頑張りは委員もしっかりわかっているので、引き続き頑張ってもらいたい。我々がしっかりバックアップしていく。

⑨ 尾崎委員（大東森づくりクラブ代表）

（最後に一言）今年もタケノコ堀があるのでぜひ来てください。

## 5. 校長よりまとめ

生徒の学校評価が全体的にとっても上がっているのはよろこばしいことです。さらに生徒に評価してもらえよう教員が努力することが野崎高校をよくしていくことにつながると確信しています。